

第4章 対象事業の実施に係る区域及びその周囲の概況（地域特性）

現状把握のため、事業区域及びその周囲を対象に、既存資料の収集整理及び必要に応じた現地踏査を行った。

事業区域及びその周囲（図示した範囲）の概況は、既存資料を中心にとりまとめた。

第1節 自然的状況

1 景観の状況

1.1 定点観測地点の状況

事業区域の周囲に存在する定点観測地点の位置等は、表4.1-1及び図4.1-1に示すとおりである。

表4.1-1 定点観測地点の位置

番号	名称	摘要
1	富士山（吉田口六合目）	
2	旧外川家住宅（国道西側歩道）	
3	旧外川家住宅（中門西側）	
4	北口本宮富士浅間神社（参道入口付近）	
5	北口本宮富士浅間神社（登山鳥居付近）	
6	北口本宮富士浅間神社（大塚丘）	
7	富士山レーダードーム館	
8	三ッ峠	
9	忍野八海・お釜池（南側）ほか	
10	花の都公園	
11	長池親水公園	
12	旭日丘湖畔緑地公園	
13	山中湖南岸の駐車場（発着所付近）	
14	富士山（富士スバルライン五合目）	
15	富士山（御庭）	
16	富士山（大沢駐車場）	
17	三湖台	
18	河口浅間神社（参道入口付近）	
19	河口浅間神社（参道中程）	
20	河口浅間神社（社殿南側）	
21	天下茶屋前	
22	新道峠	
23	大石公園	
24	富士御室浅間神社（随神門南側）	
25	富士御室浅間神社（西側鳥居付近）	
26	富士御室浅間神社（参道入口付近）	
27	八木崎公園	
28	根場浜	

出典：山梨県世界遺産富士山景観評価等技術指針別表第一

1.2 景観資源の状況

事業区域及びその周囲に存在する景観資源の状況は、表4.1-2及び図4.1-1に示すとおりである。

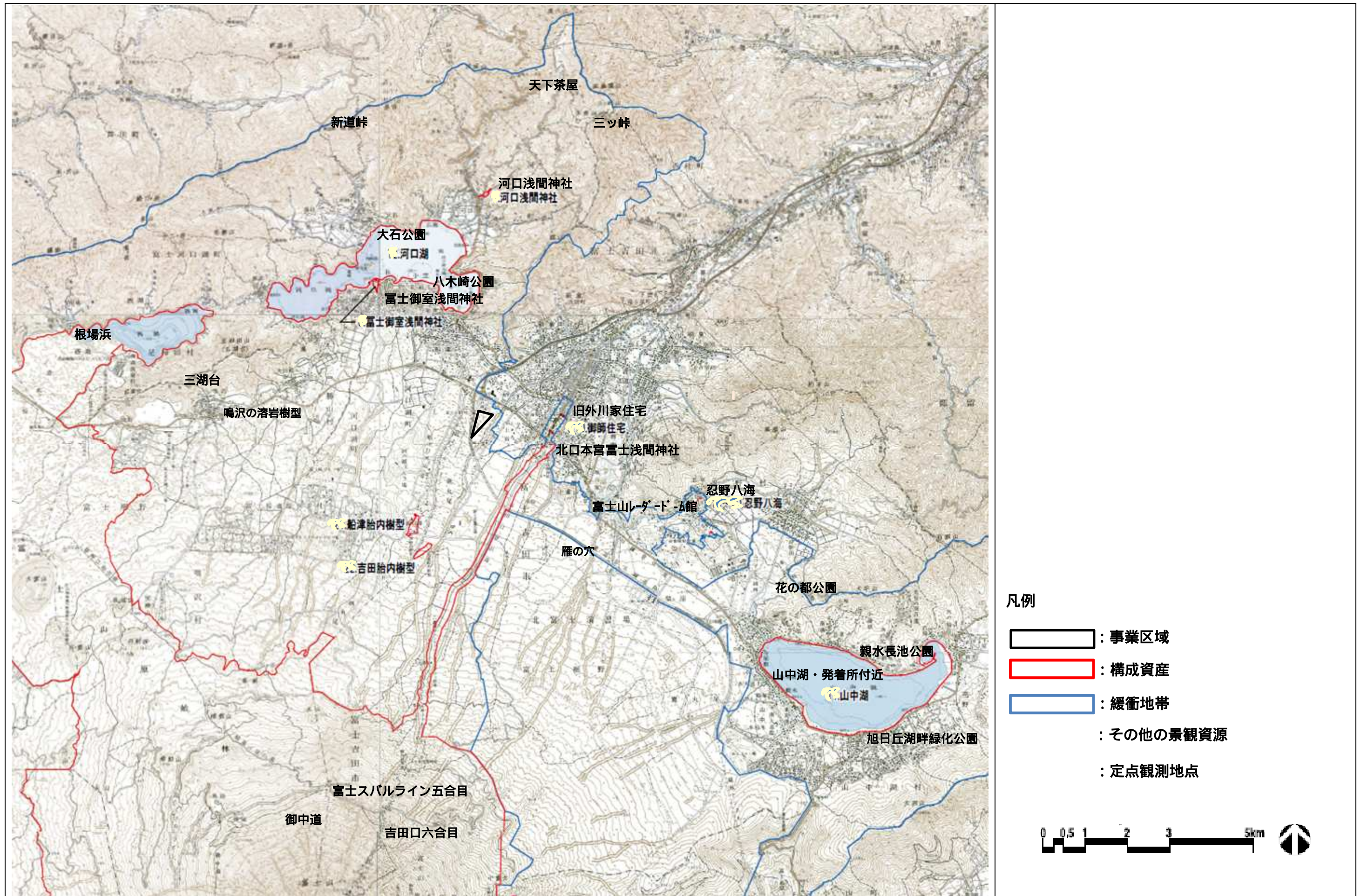
表4.1-2 景観資源の状況

番号	区分	名称	摘要
1	世界遺産	富士山域（北口本宮富士浅間神社及び西湖を含む。）	
2	世界遺産	河口浅間神社	
3	世界遺産	富士御室浅間神社	
4	世界遺産	旧外川家住宅	
5	世界遺産	小佐野家住宅	
6	世界遺産	山中湖	
7	世界遺産	河口湖	
8	世界遺産	忍野八海・出口池ほか	
9	世界遺産	船津胎内樹型	
10	世界遺産	吉田胎内樹型	
11	世界遺産	緩衝地帯	
12	自然景観資源	雁の穴	
13	自然景観資源	鳴沢の溶岩樹型	

出典：「富士山 - 信仰の対象と芸術の源泉」保全状況報告書（平成28年1月 日本国）

「第2回自然環境保全基礎調査」（昭和56年、環境庁）

「第3回自然環境保全基礎調査」（平成元年、環境庁）



凡例

- : 事業区域
- : 構成資産
- : 緩衝地帯
- : その他の景観資源
- : 定点観測地点



図4.1-1 定点観測地点等位置図

2 地形の状況

事業区域及びその周囲の地形は、表4.1-3及び図4.1-2に示すとおり、富士山の火山体北東側斜面にあたり、溶岩流地、火山斜面、火山山麓扇状地が広がっている。事業区域は新期溶岩流地（剣丸尾）に含まれる。

事業区域及びその周囲は全体としては高度を減じるとともに緩傾斜になる新しい火山体斜面である。6合目～7合目付近以高で勾配30°以上、3合目付近までは20°～30°、2合目付近までは15°～20°、そして1合目付近は8°～15°の範囲に含まれる。標高1,500m内外より低い地域では、火山体を放射状に開析する小規模な谷（ガリー）と数条の新期溶岩流（丸尾）が特に顕著である。

表 4.1-3 地形の状況

大区分	中区分	小区分
山地	大・中・小起伏火山斜面	溶岩・岩屑急斜面 植被火山斜面 火山山麓扇状地
	火山山麓地	火山山麓斜面 火山山麓扇状地
	溶岩流地	剣丸尾 鷹丸尾 桧丸尾 土丸尾 その他の溶岩流
	寄生火山	大白、小白等

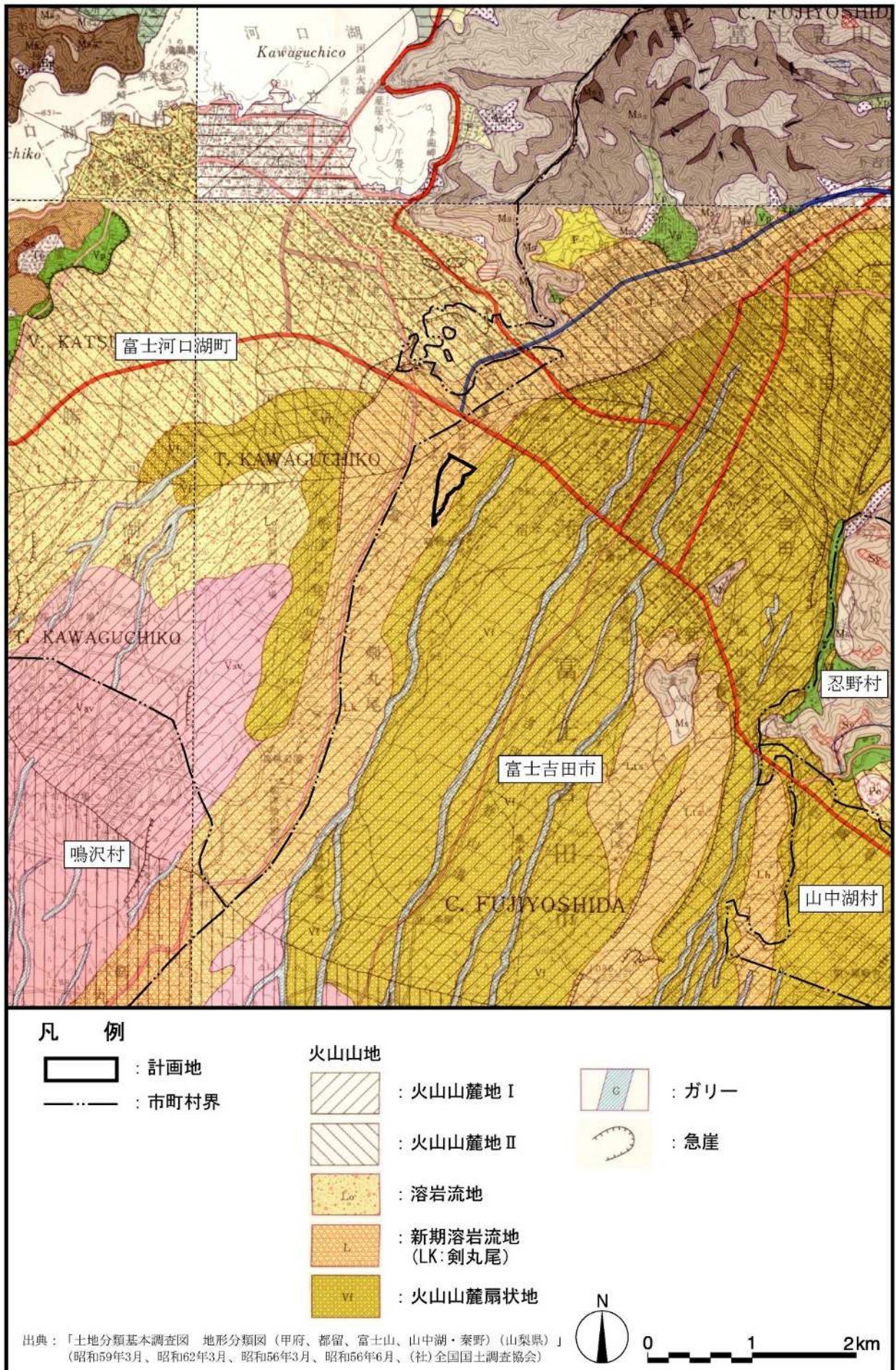


図 4.1-2(1) 地形分類図

景觀配慮書の作成例

凡 例

1	2	3	4
火山山地	火山地	火山山地	火山山地
火山山麓地Ⅱ	溶岩流地	小起伏火山地	中起伏火山地
溶岩流地	山地斜面	火山山麓地Ⅰ	火山山麓地Ⅰ
山地・丘陵地斜面	山地斜面>40°	火山山麓地Ⅱ	火山山麓地Ⅱ
山地斜面30°~40°	山地斜面30°~40°	急~緩火山斜面	急~緩火山斜面
山地斜面15°~30°	山地斜面15°~30°	溶岩流地	溶岩流地
山地斜面<15°	山頂および山稜平坦面、 顕著な凸型斜面	剣丸尾：LK	新期溶岩流地 (剣丸尾：LK、楡丸尾：Lh、 土丸尾：Lts)
台地・低地	顕著な凹型斜面	火山山麓扇状地	寄生火山
低地3°~ $\frac{1}{2}$ °	崩壊地	ガリ一	火山山麓扇状地
氾濫平野、 後背低地	新期土石流地形	急崖	ガリ一
土石流地形	台地・低地	山地	急崖
	低地3°~ $\frac{1}{2}$ °	凹型・等斉急斜面	山地
	氾濫平野、 後背低地	顕著な凹型斜面	山地斜面30°~40°
	扇状地	台地・低地	山地斜面15°~30°
	谷底平野	谷底平野	山頂および山稜平坦面、 顕著な凸型斜面
		崖錐、麓屑斜面	顕著な凹型斜面
			台地・低地
			谷底平野
			扇状地
			崖錐、麓屑斜面
			その他
			人工平坦地
			主要分水界

1	2
3	4

図4.1-2(2) 地形分類図(凡例)

3 植生の状況

事業区域及びその周囲における現存植生図は図4.1-3に示すとおりである。

事業区域及びその周囲は主にアカマツ植林、カラマツ植林、水田雑草群落及び市街地となっている。このなかで事業区域は、剣丸尾溶岩流上に成立したヤマツツジ - アカマツ群集の北西端部にある。事業区域北側は植生図では同じくヤマツツジ - アカマツ群集となっているが、既に開発され、アイススケート場となっている。

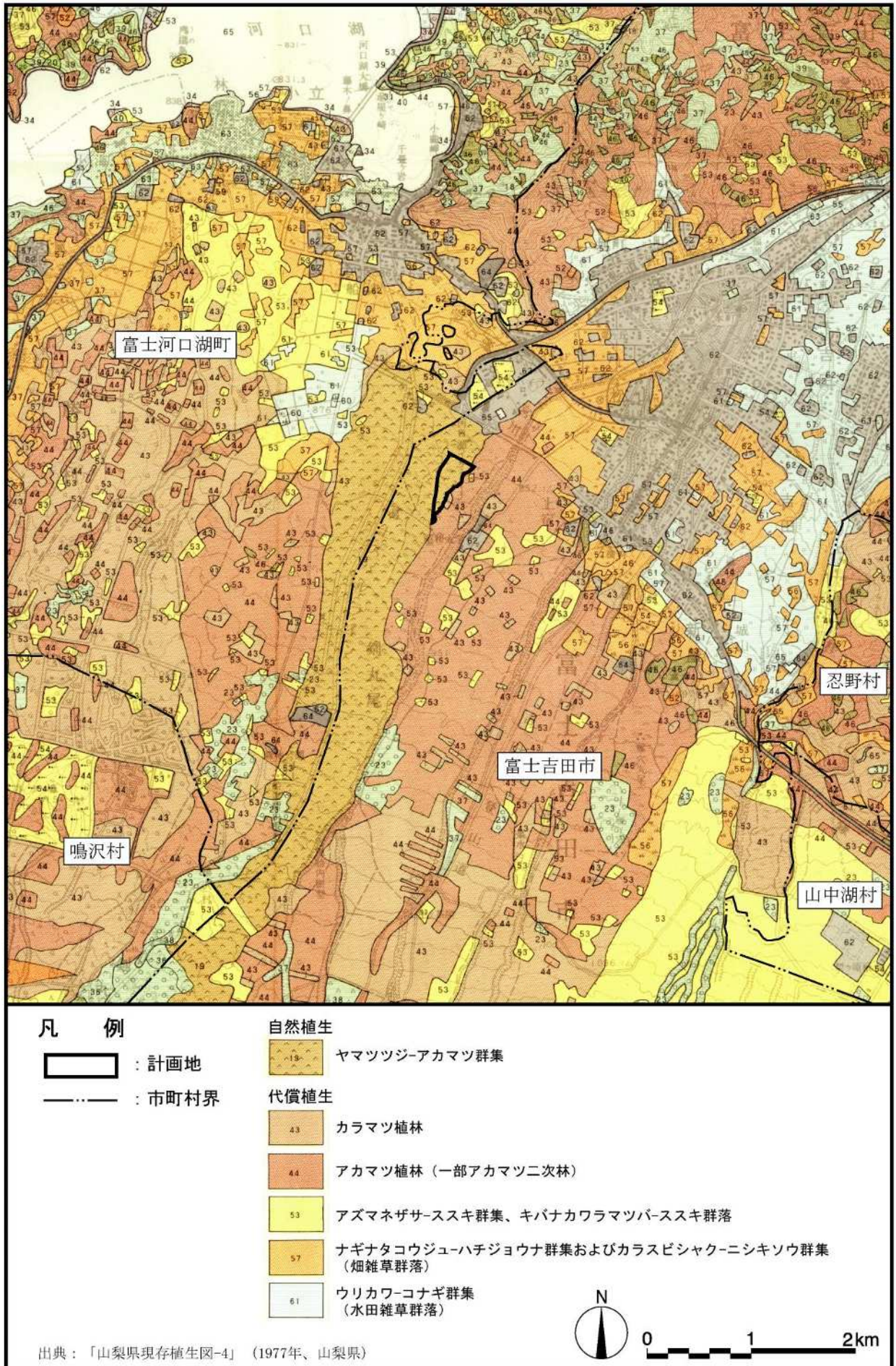


図 4.1-3(1) 現存植生図

景観配慮書の作成例

凡 例				
I 自然植生			アカマツ植林（一部アカマツ二次林）	
ブナクラス域 （山地帯）		ウラジロモミ-コメツガ群落		スギ・ヒノキ植林
		コカンスゲ-ツガ群集		クズ-カナムグラ群落
		ヤマツツジ-アカマツ群集		ヤナギラン群落、 シナノキイチゴ-トガスグリ群集 ヤマハハコ-ミヤマウラジロイチゴ群落他
		アブラチャン-ケヤキ群集		アズマネザサ-ススキ群集、 キバナカワラマツバ-ススキ群落
		タマアジサイ -フサザクラ群集、ヤシャブシ群落		ゲンノショウコ-シバ群集
		ニシキウツギ群落他 （落葉低木群落、一部代償植生）		カモガヤ-オオアワガエリ群落 （外来牧草播種地）
ヤブツバキ クラス域 （丘陵・低地帯）		モミ群落、 ウラジロガシ-アラカシ群落		ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落 （放棄畑雑草群落）
		イロハモミジ-ケヤキ群集		ナギナタコウジュ-ハチジョウナ群集および カラスビシャク-ニシキソウ群集 （畑雑草群落）
		ウキヤガラ-マコモ群集		落葉果樹園（モモ、ブドウ他）、桑畑
II 代償植生			ミゾソバ-アシボソ群落他 （放棄水田雑草群落）	
	ネコシデ-ダケカンバ群落		ウリカワ-コナギ群集（水田雑草群落）	
	クリ-ミズナラ群集、クリ-コナラ群集	III その他		
	レンゲツツジ-シラカンバ群集		市街地、工場地	
	クヌギ-コナラ群集		緑の多い住宅地	
	クサギ-アカメガシワ群集		裸地、造成地	
	カラマツ植林		開放水域	

図 4.1-3(2) 現存植生図（凡例）